

# きずな

## 小牧市民病院の理念

- 1 安全で安心な病院
- 2 最新医学による高次医療病院
- 3 恕の心で患者さんに寄り添う病院  
～医療を通じて安心で豊かな  
地域の実現に貢献します～

発行者／小牧市常普請一丁目20番地 小牧市民病院 院長 谷口健次 TEL(0568)76-4131  
<http://www.komakihp.gr.jp/>



今年もキリスト教教会（クリスチャンウェイ）が患者さんの慰問に来ました。



キミと一緒に、育っていきなさい。  
**Komaki**

- ニュース ● 感染予防について
- 特集 ● 胚培養士
- 健康教室 ● 乳がん検診の利益と不利益
- 各科だより ● 乳腺MRI検査について(放射線科)
- 職場紹介 ● 中央材料室
- 意見箱から ● 患者支援センター
- お知らせ ● 市民病院案内図 外来案内など

# 感染予防における「手洗い」と「マスク着用」の意義

## はじめに

今年も風邪やインフルエンザなどのウイルス感染が流行する季節がやってきました。ウイルスが感染する経路には、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染（せつしよかんせん）の2通りがあります。

最近では、マスクの着用、咳エチケットなどは広く認知されてきており、飛沫感染のリスクに対する意識は高くなっていることを実感します。しかしながら、皆さんは接触感染のリスクについても十分意識をされているでしょうか？

そこで今回は、ウイルス感染対策における「手洗い」の重要性と、「マスク」の効果についてお話をします。

## 感染対策で「手洗い」が基本である理由

人が感染症に罹患する要因の一つとして、手に付着した病原菌（細菌・ウイルスなど）が考えられています。病原菌の付着した手で物品に触れることにより、物品に病原菌が付着、それに触れた手を介して鼻や口、目などから体内に病原菌が入るといった具合です。

具体的には、風邪やインフルエンザに感染した人が、咳やくしゃみをしたときに口や鼻を手でおさえ、その手を洗ったり消毒しないままドアノブやスイッチ、電車のつ

り革など、様々な場所に触れることがあります。そういった場所を触った手で、自分の目や鼻、口を触ったり、食事をしたりすることで、ウイルスは体内に侵入します。つまり、手は見た目に汚れていなくても病原菌が付着している可能性があるため、石けんと流水を用いた手洗いの習慣をつけることが、感染対策の基本であり、重要な手段といえます。



## 「マスク」の効果は？

次にマスクの効果について考えてみたいと思います。マスクは、空气中に浮遊して

いる病原菌をろ過して吸い込まないようにするために着用していると思います。しかし、マスクを着用した場合、顔とマスクとの間にはどうしても隙間ができてしまいます。また、ウイルス対策をうたっているにもかかわらず、性能は製品によって差があります。このため、マスクをすることによって、ウイルス感染を完全に予防することは難しいと考えられます。さらに、ウイルスは目から感染することもあるので、マスクの予防効果は限定的であることを理解しておく必要があります。

ただし、咳やくしゃみの症状がある人がマスクを着用すると、飛沫の発生を大きく減らすことができるので、「周囲へうつさない」ためにはとても有効な手段だと思われれます。

## 最後に

「手洗い」や「マスク」の意義をきちんと理解して、日ごろから感染対策に気をつけることによって感染を拡大させないことが大切です。

## はじめに

不妊治療とは、不妊症で悩む方々が受ける治療(タイミング療法や人工授精、体外受精・胚移植、顕微授精など)の総称です。その中の体外受精や顕微授精のことをまとめて生殖補助医療と言います。体外受精・胚移植は、1978年に英国で初めて産児が得られたとの報告がされてから約40年経ちますが、現在では不妊治療の最終手段として広く行われています。実際、日本国内では不妊症で悩む患者さんの数は5.5組に1組と言われており、2015年の生殖補助医療による治療総数は40万件以上で、世界で最も行われています。日本国内で産まれてくる体外受精児の数は年間約5万人で、総出生児の約20人に1人となっています。今回は、この生殖補助医療を支える「胚培養士」について紹介させていただきます。

## 胚培養士とは

この「胚培養士」とは聞きなれない単語だと思います。胚培養士は、産婦人科医師の指導の下、体外受精や顕微授精などを行う医療技術者になります。ちなみに、世界で初めて体外受精が成功した際に、医師とともに活躍したロバート・エドワーズ博士は、生物学者で胚培養士の先駆けでもあり、体

外受精技術の開発の功績により2010年にノーベル賞を受賞しています。次に胚培養士の業務内容を紹介します。

## 胚培養士の主な業務について

- 胚培養士は、基本的に「培養室」という空気清浄度が高い部屋で、患者さんよりお預かりした配偶子(精子、卵子)、受精卵、胚を扱っています。主な業務は以下です。
- ・ 精液処理・人工授精や体外受精・顕微授精のために精液を洗浄・濃縮します。
- ・ 体外受精・体の外に採りだした卵子と洗浄した精子を混合して受精させます。
- ・ 顕微授精・顕微鏡下(写真①)で、1個の卵に1個の精子を細い針で注入します(写真②)。
- ・ 受精卵・胚の培養・受精させた卵子を培養器(写真③)で培養します(写真④のように成長します)。
- ・ 配偶子・胚の凍結と融解・専用の溶液と器具を使って凍結し、マイナス196℃の液体窒素で保存します。その後、必要に応じて融解します。
- ・ 胚移植・細胞分裂を繰り返し成長した胚を子宮内に戻します。

## おわりに

胚培養士は、表舞台に出ることの少ない「縁の下の力持ち」的な存在です。しかし、体外受精や顕微授精などの治療の結果は、胚培養士の力量で大きく変わってきます。そのため、常日頃、個々の技術や知識などの向上に努めるとともに、学会などへ積極的に参加し最新の情報を取り入れ患者さんの治療に活かすよう努力しています。

写真①



顕微授精を行うための顕微鏡

写真②



顕微授精で卵に精子を注入している

写真③



受精卵(胚)の成長をリアルタイムで観察できる培養器

写真④



受精卵(胚)の成長過程

## 乳がん検診の利益と不利益

この数年、著名人が乳がんにかかった報道をよく目にします。そしてその度に、とにかく検診を受けましょう、などというコメントがなされています。

実は乳がん検診はすべての女性に推奨されているわけではありません。今回は乳がん検診の利益と不利益について述べたいと思います。

まず、乳がん検診の最大の「利益」は、早期発見により乳がん死亡率が減少することです。

現時点で死亡率を下げる有効な検診方法として世界的に認められているのは唯一マンモグラフィのみです。しかも、十分な効果が期待できるのは50歳以上という制限つきです。40歳代でも乳がん死亡率減少の効果は認められたものの不利益も存在し、利益と不利益を比べた場合に50歳代の女性と比較して利益が上回る度合いが小さいことがわかりました。

この「不利益」とはなんでしょう。具体的にはマンモグラフィ撮影を2年に1回定期的に行うことで累積して受ける被ばく、偽陽性（がんではないのにがんと判断されること）により精密検査となった時の

心理的・金銭的負担、過剰診断（生命予後に関係しないくらいにおとなしいがんが、がん検診で発見され治療されること）などがあります。検診を受けることで発生するよくない部分もあるということです。

それでは乳房超音波は検診検査として有効でしょうか。2015年日本から報告されたJ-STARTという臨床試験で、マンモグラフィのみの検診と、マンモグラフィ+超音波併用検診とで比較したところ、発見乳がん数はマンモグラフィに超音波を併用したほうが感度（がんである病変を正しくがんと診断できる能力）・がん発見率ともに良好でした。しかし特異度（がんでないものをがんでないと診断する能力）については明らかに成績が悪くなっていました。さらに、死亡率減少に関する根拠はまだ得られていません。

まとめますと、現段階で死亡率減少の根拠があるとされるのは50歳以上の女性への2年に1回のマンモグラフィ検診です。30代以下は推奨されず、40代も死亡率減少の効果はあるが50歳代とくらべその利益は少なめであり、個人の利益と不利益をよく検討して実施する、という方針が主流です。

また超音波については現在任意型検診（人間ドックや職域検診）で行われていますが、良性病変も見つけやすくなり、本来不要はずの精密検査が必要と判断される割合が増加してしまつたため、医療費増大や確定診断までの不安がつきまとうことになりました。もちろん、超音波を受けてはいけない、というわけではありませんので、個人の自由で超音波を併用してもよいでしょう。



乳がんの検査でマンモグラフィ、超音波に続いて多く行われるMRI検査について説明いたします。

### ①検査前準備

MRI装置は磁石を用いて被ばく無しに人体の情報を得る装置です。その強力な磁石に磁性体が引きつけられる事故を防ぐために、MRI装置をご使用になられる皆様には、まず着替えと問診をさせて頂きます。  
 (※磁石に引き付けられるものを磁性体といい、磁石に引き付けられないものを非磁性体といいます)

検査前の問診では、「体内外金属の有無」「造影剤使用歴」「造影剤アレルギーの有無」「喘息の有無」「現在の体重」「最終月経」をお答えいただいております。

これは安全かつ正確な診断に繋げるため、大切な質問になります。

MRI用造影剤とは静脈注射で行われるガドリニウムという製剤のことです。

病変(病気)による生体の変化。乳がんの場合はシコリなどを指す)を見やすくする薬です。造影剤は基本的には安全な薬剤とされていますが、まれに副作用を生じることが知られています。

副作用の発生率が高くなる要因として、腎臓の働きが著しく低下している方、今ま

で造影剤を使用して気分が悪くなった、じんましんが出たりしたことがある方、喘息(ぜんそく)がある方、喘息にかかったことがある方、アレルギー体質の方などに副作用が生じることがあります。

安全に検査を行うため、事前の問診をさせていただいております。造影剤の使用量を決めるため、体重もあわせてお聞きしております。

また、乳房MRIの検査の質と生理周期には関連があります。そのため検査当日、患者さんの乳腺の状態を把握するため、最終月経の日にちをお聞きしております。(画像上で乳腺が目立たない時期…月経開始後第2週をおすすめしております。)

### ②撮影体位及び検査の流れ

MRI検査はうつ伏せの状態です。MRIの機器に入り、撮影していただきます。

その際、検査着の前は開いて頂き、コイルと呼ばれる乳腺撮影用検査機器の二つの穴の中に乳房を下垂させてうつ伏せになります。ただしMRI検査ではマンモグラフィと異なり、所要時間は約30分程度かかりますが、放射線を使わないので、被ばくの心配はありません。検査時ドーム型の機器に入ると閉塞感があり、耳栓は使用していただくものの機械音も大きく、それを不快に感じる方もいらっしゃいます。

そして検査のほぼ中盤に造影剤を使用していきます。体制は変えられませんのでうつ伏せのまま多くは手背より注射を行っていきます。



造影剤は、ほとんどが尿として排泄されます。検査後排泄を促進するため、水分を多めにとって頂くなどのご案内をさせていただきます。食事は普通に摂っていただいても構いません。

### ③最後に

乳がんの画像診断としては、MRIは最も感度(病変の発見率)が高いものです。通常はマンモグラフィや超音波の検査で異常があった場合の精密検査や広がり診断として行われています。また、手術前の術式の決定や、対側乳腺の確認としても行われています。

当院では多くの方に安心して乳腺MRI検査を受けていただけるよう、多くの女性スタッフを配置し、安全で安心な検査を心がけてお待ちしております。

# 滅菌業務、手術室医療作業



## 会社紹介

日本ステリ株式会社は1987年に創業し、『滅菌事業を核として、医療の質の向上に貢献する』という理念のもと、医療機関の中央材料室における滅菌業務を中心に、事業を展開してまいりました。また、手術業務支援サービスや医療機器管理業務、内視鏡室支援サービスなど、幅広い医療関連サービスを提供することにより、医師や看護師の皆様が医療に専念できる環境づくりに貢献してまいりました。

## 業務紹介

私たちは、地下1階中央材料室と3階手術室に常駐し、滅菌業務、手術室医療作業を担当しています。

ひと口に滅菌業務と言っても、器材の回収↓点検・仕分け↓用手洗浄↓機械洗浄↓器材の確認↓セット組み↓滅菌↓保管・払出しといった、たくさんの工程があります。

また、器材の材質や形状によって洗浄・乾燥・滅菌方法が異なり、使用する設備機器も異なります。そのため、滅菌に対する知識はもちろんのこと、多種多様な器材がどのように手術に使用されるかなど、多くの知識が必要です。当社は有資格者を適材適所に配置する事で、メデイカルパートナーとしての安定した業務遂行を可能にしています(当院スタッフ有資格者数・滅菌管理士2名・院内滅菌消毒業務受託責任者2名・衛生推進者1名)。

手術室医療作業では、年間約6,000件の手術が円滑に安全に行われるよう、術間/術後清掃・物品器材の補充・手術室エリアの環境整備・ガウン介助・手術器材の洗浄・組立・滅菌・翌日の手術の準備など、日々、臨床の最前線で医療職のサポートを行っています。

日ごろの現場 OJTに加え、知識と技術の習得を心掛け、医療機関の皆様が求めるサービスをいち早く提供することで、今後も医療の質の向上に貢献していきたいと思っております。

(注) OJT: On-the-Job Training の略で、日常の業務につきながら行う教育

当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。そこで、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

## 《いただいたご意見》

1F再来機（受付機）の紙の出口、分かりづらい。  
赤いテープなどで、分かりやすくして欲しい。



## 《ご意見に対するお答え》

病院総務課

この度は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。  
ご指摘のとおり、出力される患者案内票と再来受付機が同系色であり、出力されているのか分かり難い状況でした。このため、ご提案いただきました患者案内票が出力される場所に、赤いテープを貼るという対応をさせていただきました。初めての試みであり、機械等の不具合が生じる場合は他の方策を検討しますが、しばらくの間、ご提案していただきました方法で運用いたします。  
今後も、患者さんの目線に沿った運用の改善に努めてまいります。

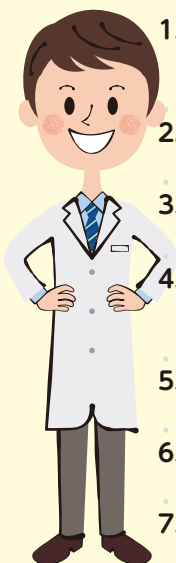
## お知らせ

当院では、ご入院の患者さんの利便性の向上のため、「寝巻・タオル・日用品セット・紙おむつ」のレンタルサービスを導入いたしました。

タイプ	ご利用内容	利用料金
A	●寝巻 ●タオル類 ●日用品セット	1日あたり416円
B	●紙おむつ[1日中使用の方]	1日あたり400円
C	●紙おむつ[リハビリ程度使用の方]	1日あたり302円

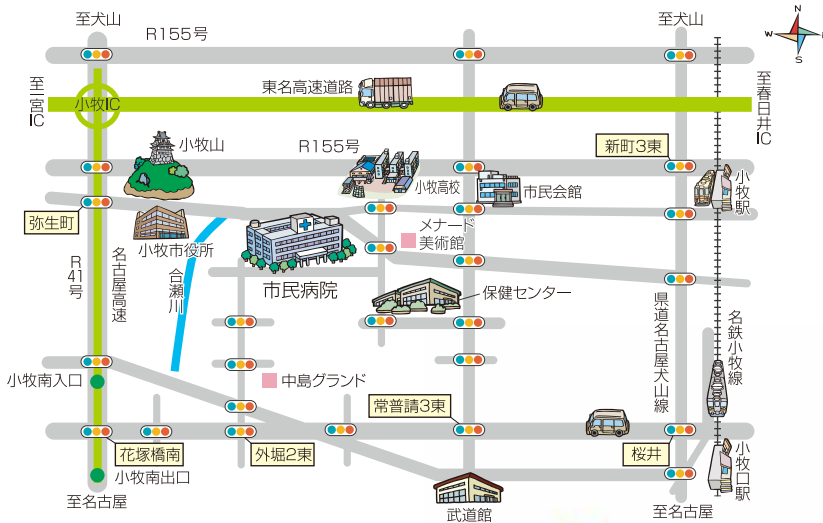
※日用品セットは、シャンプー、ボディソープ、ティッシュ、コップ、箸、歯ブラシ等  
※従来の病衣については貸出しを廃止いたします。  
※詳しくはスタッフまでお問合せください。

## 小牧市民病院の基本方針



- 1. 地域社会への貢献**  
尾張北部医療圏の高度急性期医療を担う中核病院として、高次医療、救急医療を提供し、社会的な要請や地域社会のニーズに応える病院事業を推進します。
- 2. 患者本位の医療の実践**  
「恕」の心をもって患者さんの立場に立った思いやりのある医療を行います。
- 3. 医療の質の向上**  
診療機能を高めるとともに、安全で質の高い医療を提供します。
- 4. チーム医療の強化**  
すべての職員は自らの専門性を生かしつつ互いに協力し合うことで、患者さんを中心としたチーム医療および組織横断的活動を推進します。
- 5. 地域医療連携の推進**  
地域完結型医療のために、地域の医療水準の向上を目指して、周辺の医療機関との連携を推進します。
- 6. 医療人の育成**  
働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人を育成します。
- 7. 健全な経営**  
医療情勢の変化に対応し、安定した経営基盤の確立を目指します。

## 市民病院案内図



- 名鉄小牧駅から徒歩15分
- 名鉄小牧駅から岩倉駅行きバスで小牧市民病院前または小牧市民病院北下車3分
- 東名・名神高速道路小牧インターから車で5分
- 名古屋高速11号小牧線小牧南出口から車で5分

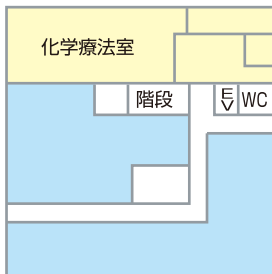
### ■ 有料駐車場料金

8時間までは100円  
 8時間を超えると1,000円加算  
 以降8時間を超えると1,000円加算

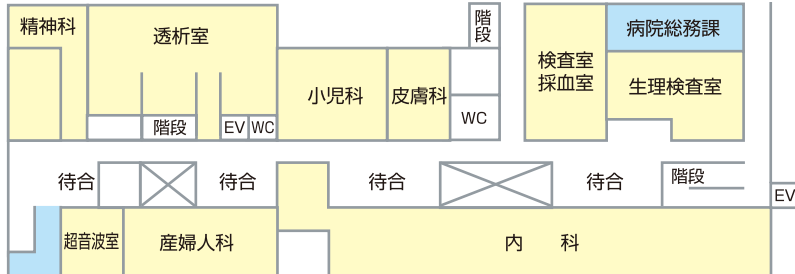


## 外来案内

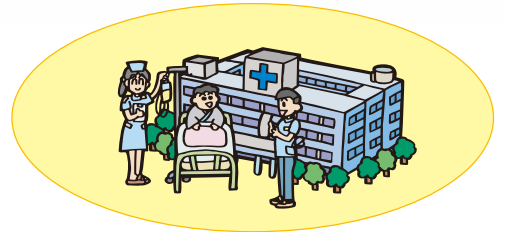
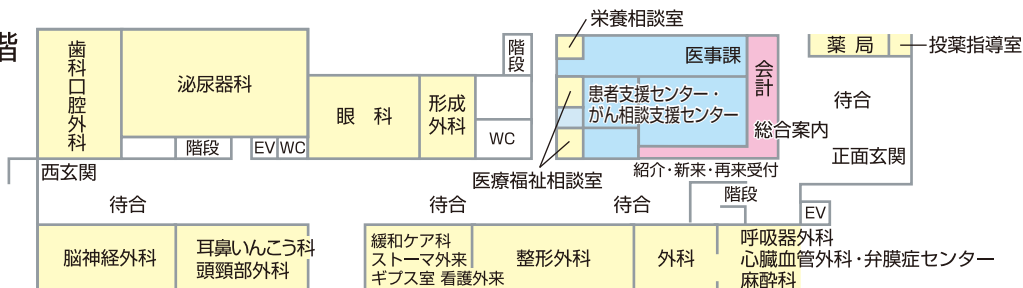
3階



2階



1階



### 〈診療受付時間〉

午前8時30分～午前11時30分

### 〈診療時間〉

午前9時～午後5時

### 〈休診日〉

土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

※急患の方は、救命救急センターで随時診療